

大学院経営情報 イノベーション研究科

研究科案内

経営情報 イノベーション研究科

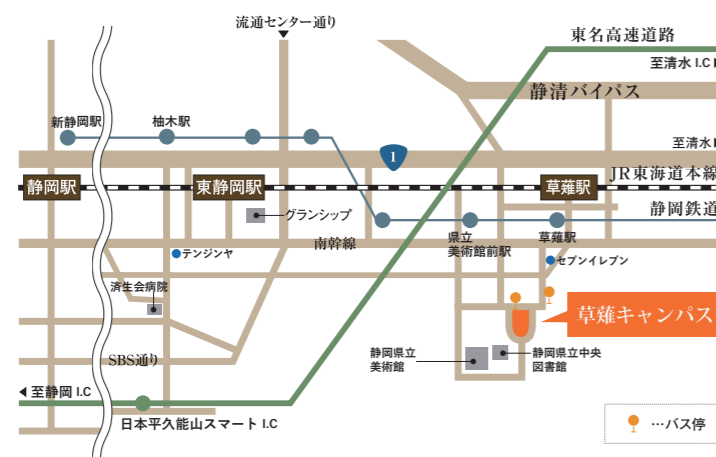
研究科案内

静岡県立大学法人 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1
静岡県立大学 TEL 054-264-5102(代表)
 UNIVERSITY OF SHIZUOKA 054-264-5007(入試室)

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp> (全学)
<https://mi.u-shizuoka-ken.ac.jp> (学部・研究科)

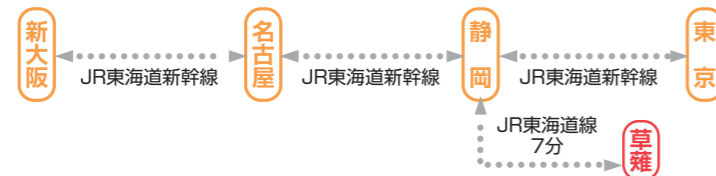


■ ご案内(大学所在地・交通)



静岡までのアクセス(いずれも「新幹線〇かり号」を使用した場合)

- 東京から : 東京 → 静岡 約1時間
- 大阪から : 新大阪 → 静岡 約2時間
- 名古屋から : 名古屋 → 静岡 約1時間



最寄り駅からのアクセス

- 徒歩の場合 : JR「草雉」駅、または静岡鉄道「県立美術館前」駅、同「草雉」駅から 徒歩15分
- バスの場合 : JR「草雉」駅前より、しずてつジャストライン 草雉団地行き(三保草雉線)で、「県立大学入口」下車 約5分
 *平日の午前のみ、「県立大学前」下車が可能 下車0分



経営、公共政策、情報、観光を柱に イノベーションの担い手、 高度な専門的人材の育成を目指す



教育、研究、地域貢献を行うための「知の創造を担う拠点」の確立

現在、新たに台頭しつつある社会変革へのニーズに応えるべく、静岡という地場の状況を熟知した地域の総合的な戦略を構築し、イノベーションを現実化する人材を養成する拠点が求められています。本研究科はそうした拠点として、静岡県の地域特性およびその立地の状況を活かして、地域の皆さんとともに地域に立脚し、知の創造とその活用により地域社会に貢献できる人材を育成します。



イノベーションを喚起する新たな プロフェッショナルの育成(博士前期課程)

あらゆる領域において一人ひとりがプロフェッショナルとしての知識とスキルを求められる昨今、組織や地域社会の中でイノベーションを具体的なかつ実践的に担う第一線で活躍する専門的職業人の育成を目指します。



あらゆる領域においてイノベーションの実現と その基盤を担う人材の養成(博士後期課程)

急速な少子高齢化の進行、経済のグローバル化に伴う競争の激化などにより、ローカル/グローバルなレベルにおいてこれまでとは異なる新たな発想で道を切り開く方策への期待が高まっています。そこで本研究科は、経営、公共政策、情報、観光の研究教育の支柱をより強固に取りまとめ、社会における様々な課題解決につながるイノベーションを推し進めることのできる人材を、高度かつ実践的な研究教育を通して養成します。



博士前期課程、博士後期課程ともに イノベーションを軸にしたカリキュラム体系

博士前期課程、博士後期課程ともにそのコアに「イノベーション」関連科目を配置し、イノベーションに関する知識とスキルの獲得を目指します。

【博士前期課程】「イノベーション原理特論」「ソーシャル・イノベーション特論」「知的情報イノベーション特論」「観光マネジメント特論」

【博士後期課程】「イノベーション論特殊講義」「経営事業創造特殊講義」「ソーシャル・イノベーション特殊講義」「地域マネジメント特殊講義」「知的情報システム特殊講義」「知的情報基盤特殊講義」



遠隔地(オンラインでも開講)でも、 働きながら(夜間・土曜日も開講)でも学べる大学院、長期履修制度あり

本研究科のすべての講義は午後2時40分以降に始まり、半数以上の講義は夜間(午後6時30分以降)に開講されます。また、土曜日の午前・午後が開講される授業、オンラインで開講される授業、長期履修制度もあります。これにより、社会人が勤務を続けながら学位を取得することができます。この制度を利用して、現在では多数の社会人大学院生が在学しています。

Message

高い専門性を有し、 「思考のダイバーシティ」を実践できる人材を育みます

イノベーションが経済の発展はもちろんのこと、人類の進展において最も貢献している要因だと言っても過言ではありません。しかし85%の新しいアイデアは開花せず、研究開発を行っても、その60%は市場に出たあとに失敗してしまいます。これはイノベーションにおける経営力が足りないからなのです。テクノロジーの知識不足がイノベーションの失敗につながることはまれなのです。

これからの日本は、過度な内部成長重視型の殻を打ち破り、革新的で新しい価値を創出するオープン・イノベーションが欠かせません。海外に目を向けますと、米中によるヘゲモニー争いによって地政学的リスクが一気に高まり、欧州では民族と宗教と文化が複雑に絡み合った「文明の衝突」が現実のものとなりつつあります。このように不確定要素が増大している環境下におい

て、多様性を容認し、許容度を高め、「思考のダイバーシティ」を実践する必要性が高まってきているのではないのでしょうか？ また、AIなど、技術の進歩により、さらなる専門性が個人に求められる時代が到来しています。

本研究科の博士前期課程においては、各人が専門性に長けた人材となるよう、イノベーションを喚起するプロフェッショナルの育成に力を入れています。博士後期課程においてはあらゆる領域においてイノベーションの実現とその基盤を担う人材の育成を目指しています。成熟した概念から脱却し、イノベーションに必要な不可欠なダイナミックな概念を備えていただくため、多様なカリキュラムを提供しています。遠隔地にはオンラインで対応し、社会人による積極的な参加を勧奨するために講義の半数以上は夜間にて行われ、土曜日も開講しています。

経営情報
イノベーション研究科長
竹下 誠二郎



プロフィール
獨協大学外国語学部卒(1985)、岡三経済研究所入所後、米国留学を経て、ドイツ銀行、オランダ銀行、みずほインターナショナルなど、ロンドンの金融街にて24年間勤務。2015年より静岡県立大学経営情報学部教授(2017~21学部長)、経営情報イノベーション研究科教授(2023~研究科長)。比較バナナスを中心とした国際比較・経営を主に研究している。BBCやCNNなどをはじめとした海外メディア出演回数は2,500回超。ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院MBA(1989)、ロンドン大学Ph.D.(経営学、2007)。

研究センター紹介

■ 地域経営研究センター

地域経営研究センターでは、経営・公共政策・情報・観光に関わる大学院経営情報イノベーション研究科の知的資源を組織化・体系化し、地域社会のニーズに適合した社会人学習プログラムの開発と提供を行います。また、地域経営に関連するテーマの研究活動を行い、地域に関する諸問題を解決するための提言を行うことを志向します。



■ 政策研究センター

政策研究センターは、2024年4月に新設されました。本センターは、本大学院の「公共政策」、「経営」、「データサイエンス」又は「観光」の各分野における政策に関する知見や、他の研究センターにおける研究と融合させつつ、政策に関する研究を行い、その成果を本大学院の内外に発信し、静岡県の発展に寄与することを目的としています。

■ ICTイノベーション研究センター

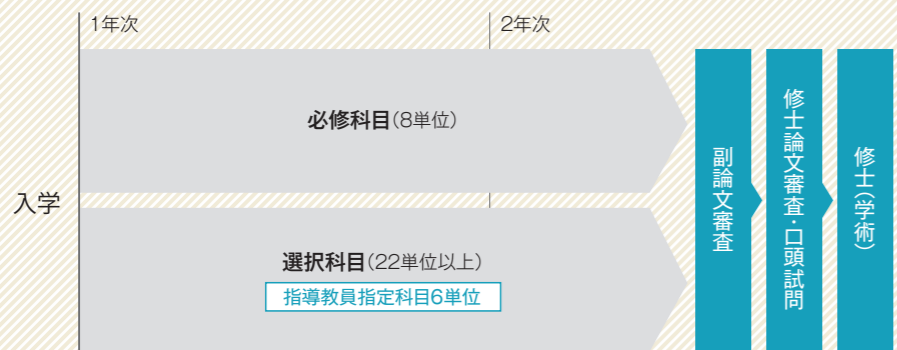
情報・数理・経営・公共政策・観光分野を連携・融合させた学際的研究を推進するため、情報通信技術(ICT:Information and Communication Technology)分野におけるイノベティブな研究および社会のイノベーションの基盤となるICT技術の研究に取り組み、研究成果の社会展開を通じて静岡県を始めとした地域の発展に貢献します。

■ ツーリズム研究センター

ツーリズム研究センターでは、静岡県観光に関する調査・研究のほか、各市町と連携した地域活性化活動、高校の先生方に対する観光教育の紹介、県内中学校・高等学校向けの観光講座の実施等を行っています。こうした取り組みを通じて、静岡県の観光振興、観光マネジメントを担う人材の育成に努めるとともに、若年層の地域に対する愛着向上を促すことに努めています。

博士前期課程

入学から修士号取得まで 標準修業年限2年(最長4年) / 長期履修制度あり



CHECK A 高等学校教諭専修免許の取得

本研究科では、高等学校教諭専修免許「商業」及び「情報」の取得が可能です。高等学校教諭一種免許をすでに持っている方なら、本研究科開講科目の内、教職指定科目をそれぞれ24単位以上修得することにより専修免許が取得できます。

CHECK B 修了要件

- ①必修科目8単位、選択科目から指導教員が指定する指定科目6単位、選択科目からその他16単位を併せて計30単位以上を修得すること。
- ②必要な研究指導を受けた上で、副論文審査の合格を経て、修士論文の審査および口頭試問に合格すること。

CHECK C 単位互換

(単位互換科目1)

静岡大学大学院人文社会科学研究科が単位互換により提供する科目を、8単位を上限として修了単位に参入できます。ただし、下記の「他研究科科目」とあわせて10単位を上限とします。

(単位互換科目2)

指導教員及び科目担当教員の許可により、本学の他研究科の科目を10単位を上限として、修了単位に参入できます。ただし、上記の「単位互換科目」とあわせて10単位を上限とします。

授業科目の一覧

	必修科目 (すべて2単位)	選択科目(すべて2単位)			
		経営分野	公共政策分野	情報分野	観光分野
1年次	特別研究I 特別研究II	アグリビジネス特論 イノベーション原理特論 企業評価特論 コーポレートファイナンス特論 国際経営特論 社会科学研究方法特論 新規事業創造特論 ソーシャル・ビジネス特論 多国籍企業特論 ファミリービジネス特論 マーケティング特論 マネジメントコントロール特論 流通イノベーション特論 経営戦略特論 経営組織論特論 国際比較経営特論 財務会計特論 行動科学研究法特論 人的資源管理特論 法人税法特論 消費者行動論特論	ソーシャル・イノベーション特論 サードセクター特論 都市政策特論 医療介護イノベーション特論 地域マネジメント特論 地域イノベーション特論 経済政策特論 イノベーションの経済分析特論 ミクロ経済学特論 国際経済学特論 地方自治特論 保健医療システム特論 ソーシャル・インクルージョン特論 社会保障ネットワーク特論 財政・租税特論 地域福祉マネジメント特論 ヘルスケア情報処理特論 社会システム分析特論 現代金融特論	ITビジネス特論 ITマネジメント特論 計算機援用工学特論 シミュレーション特論 情報技術特論 情報セキュリティ特論 情報メディア工学特論 数理情報特論 ソフトウェア工学特論 知的情報イノベーション特論 データ工学特論 ナレッジ工学特論 ネットワークコミュニケーション特論 ヒューマンコンピュータインタラクション特論 経営情報数学特論 経営数学特論 情報教育特論	レベニューマネジメント特論 観光マネジメント特論 観光政策特論 観光情報分析特論 観光産業特論 地域観光特論 地方創生特論 観光調査特論 観光まちづくり特論
	特別研究III 特別研究IV				
2年次				特別講義 経営情報イノベーション特別講義I 経営情報イノベーション特別講義II 経営情報イノベーション特別講義III 経営情報イノベーション特別講義IV 経営情報イノベーション特別講義V	

(2025年度入学生実績)

Voice 先輩達のリアルな声を聞いてみよう!

多角的な視点を学ぶ機会を得ることで
選択肢を広げられるきっかけになる



ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
長島 悠貴さん (経営情報イノベーション研究科 修士課程修了)

*現在の博士前期課程

昨今生成AIがめざましい発展を遂げています。私は修士課程で、機械学習を用いて自然言語のデータを分析・分類を目的とした研究を行っており、AIの基礎となる部分やその活用に関する研究に取り組んでいました。修士課程修了後は、ITインフラに関わる企業にエンジニアとして就職し、スマートフォン向けアプリケーションのバックエンドサーバーの開発・運用を行なっています。一見学んだことは大きく関係がないように思われますが、業務でも生成AIに関するサービスをリリースしており、それらを検討する際には修士課程で得た知識・知見を活かすことができました。今後AIがさらなる発展を遂げていくと考えられる社会の中で、そうしたものをより効果的に活用していく上では、ITに関する知識だけではなく経営的な観点など多角的な視点が求められます。進学し、多角的な視点を学ぶ機会を得ることで選択肢を広げられるきっかけになると考えます。

博士後期課程

入学から博士号取得まで 標準修業年限3年(最長6年) / 長期履修制度あり



CHECK A 修了要件

- ①本博士後期課程に3年以上在学し、必修科目14単位、選択科目から4単位の併せて計18単位以上を修得すること。
- ②必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査および最終試験に合格すること。

授業科目の一覧

	必修科目	選択科目	
		特殊講義科目 (すべて1単位)	特殊演習科目(すべて2単位)
1年次	研究指導I (4単位) 特殊演習I (2単位)		
2年次	研究指導II (4単位)	イノベーション論特殊講義 ソーシャル・イノベーション特殊講義 地域マネジメント特殊講義 知的情報システム特殊講義 知的情報基盤特殊講義 経営事業創造特殊講義	特殊演習II
3年次	研究指導III (4単位)		

(2025年度入学生実績)

これからの時代に必要な
学びの機会を提供してくれました



愛知淑徳大学 食健康科学部
岩崎 祐子さん (博士後期課程修了)

私は、行政の専門職として長らく働いていましたが、社会に出て気づいたその必要性から、大学院ではマーケティングを学び、その健康づくりへの展開について研究しました。院では、固定観念でコチコチに硬くなった思考をほぐすように、迷って、調べて、考えて、そして多様な領域の先生方や、経験も領域も異なる院の先輩や同級生の仲間たちとも話し合う貴重な経験を得ました。社会人院生は、何よりも時間と体調の管理がタイヘンです。でも、ふりかえってみれば、統計を始めとする分析能力も、様々な書籍を読みこむ力も、自分と違う価値観のヒトを観る視点も、ここに来なければ、こんなには得られなかったかもしれません。現在、大学で教員をしていますが、この研究科の持つ学問の専門領域を超えた、多様さに寛容な雰囲気は、これからの時代にとても大事な学びの機会を提供してくれました。

教員紹介

日々議論し合い、教育と研究にチームワークを発揮する



講師
天野 政紀
Amano Masanori

主な科目: 数理情報特論
専門分野: 図数論、複素解析学
研究テーマ: タイヒミューラー空間論



准教授
天野 ゆかり
Amano Yukari

主な科目: 医療介護政策特論
専門分野: 介護福祉論、臨床倫理、医療介護人材
研究テーマ: アジアにおける高齢者ケア、外国人介護人材の育成、在宅医療と介護の倫理



准教授
กากุลหว่าน-นัจม
Khaokhruamuang Annaj

主な科目: 観光マネジメント特論
専門分野: 観光科学、観光発展、観光計画
研究テーマ: 農村観光発展、観光における茶文化の商品化



准教授
井本 智明
Imoto Tomoaki

主な科目: 経営数学特論
専門分野: 数理統計学、確率分布論
研究テーマ: 幾何多様体上の確率分布の構成とその推定



助教
相良 陸成
Sagara Rikunari

主な科目: データ工学特論
専門分野: ヒューマンロボットインタラクション、人工知能
研究テーマ: 人工知能の協力、ロボットによる語彙・概念の獲得



教授
竹下 誠二郎
Takeshita Seijiro

主な科目: 国際比較経営特論
専門分野: 比較ガバナンス論、日本多国籍企業の戦略
研究テーマ: 日米比較ガバナンス論、多国籍企業の国際比較分析



准教授
玉利 祐樹
Tamari Yuki

主な科目: 消費者行動論特論
専門分野: 行動意思決定論、経済心理学
研究テーマ: 意思決定の計量モデル



講師
寺崎 竜雄
Terasaki Tatsuo

主な科目: 観光政策特論
専門分野: 観光政策論
研究テーマ: 持続可能な観光のための地域資源管理



教授
岩崎 邦彦
Iwasaki Kunihiko

主な科目: マーケティング特論
専門分野: マーケティング
研究テーマ: 地域に関連するマーケティング課題の研究



教授
上野 雄史
Ueno Takefumi

主な科目: 企業評価特論
専門分野: 財務会計、経営分析、国際会計
研究テーマ: 保険会社の金融規制、サステナビリティ開示とその有用性、AIが会計専門職に与える影響分析



准教授
上原 克仁
Uehara Katsuhito

主な科目: 人的資源管理特論
専門分野: 人的資源管理論、人事経済学、労働経済学
研究テーマ: 内部労働市場の機能と人事制度の効果に関する実証研究



教授
内海 佐和子
Utsumi Sawako

主な科目: 観光まちづくり特論
専門分野: 建築計画、都市計画
研究テーマ: 世界遺産に対する観光地化の影響、観光地化に伴う景観変容



助教
野口 理子
Noguchi Riko

主な科目: 経済政策特論
専門分野: 行動経済学
研究テーマ: 健康に関する意思決定、労働者の受診行動



教授
東野 定律
Higashino Sadanori

主な科目: 医療介護イノベーション特論
専門分野: 医療介護政策、社会福祉学、公衆衛生学
研究テーマ: 医療介護におけるデータ分析、医療介護サービスのイノベーション



教授
藤本 健太郎
Fujimoto Kentaro

主な科目: ソーシャルインクルージョン特論
専門分野: 社会保障政策論
研究テーマ: 持続可能な社会保障制度、地域の社会保障ネットワークの構築



講師
松岡 清志
Matsuoka Kiyoshi

主な科目: サードセクター特論
専門分野: 行政学、政策学、地方自治
研究テーマ: 公共交通政策、デジタル・ガバナメント政策



教授
大久保 あかね
Okubo Akane

主な科目: 観光情報分析特論
専門分野: 観光学
研究テーマ: 観光をキーワードとした地域振興



准教授
大久保 誠也
Okubo Seiya

主な科目: 情報セキュリティ特論
専門分野: 暗号、量子計算、ゲーム情報学
研究テーマ: 量子計算と暗号の安全性、不完全情報ゲームの解析とアルゴリズム



講師
沖本 まどか
Okimoto Madoka

主な科目: ミクロ経済学特論
専門分野: 国際貿易論(理論研究)
研究テーマ: 情報の非対称性の下での食品貿易、経済成長と国際食料価格



教授
落合 康裕
Ochiai Yasuhiro

主な科目: ファミリービジネス特論
専門分野: 事業承継、競争戦略、ビジネスシステム
研究テーマ: 事業承継と経営革新、競争優位と事業戦略、後継者教育



教授
武藤 伸明
Mutoh Nobuaki

主な科目: 計算機科学特論
専門分野: 組合せ論、グラフ論
研究テーマ: グラフ論、パズル、ゲームなどにおける組合せ論的問題のコンピュータを用いた解決



教授
湯瀬 裕昭
Yuze Hiroaki

主な科目: 情報教育特論
専門分野: 情報教育、応用情報システム
研究テーマ: 情報技術の教育利用、防災情報システム、福祉情報工学



教授
六井 淳
Rokui Jun

主な科目: ナレッジ工学特論
専門分野: 人工知能、機械学習
研究テーマ: ニューラルネットおよび深層学習、進化計算と自己組織化



教授
渡邊 貴之
Watanabe Takayuki

主な科目: シミュレーション特論
専門分野: 計算機システム・ネットワーク、数値計算
研究テーマ: 経営情報システム、シミュレーション、観光情報学、コンテンツデザイン



助教
小田 紘久
Oda Hirohisa

主な科目: 情報メディア工学特論
専門分野: 医用画像処理、コンピュータビジョン
研究テーマ: 臓器セグメンテーション、コンピュータ診断支援



教授
岸 昭雄
Kishi Akio

主な科目: 社会システム分析特論
専門分野: 都市経済学、土木計画学
研究テーマ: 公共政策の経済分析、都市の集積構造の分析



准教授
木村 綾
Kimura Aya

主な科目: 地域福祉マネジメント特論
専門分野: 地域福祉、コミュニティワーク
研究テーマ: コミュニティマネジメント、在宅における看護と介護の連携



准教授
国保 祥子
Kokubo Akiko

主な科目: ソーシャル・ビジネス特論
専門分野: 組織マネジメント、ソーシャル・ビジネス
研究テーマ: 社会的インパクトを目的とするビジネスのマネジメント、人材育成のマネジメント

博士前期課程、博士後期課程の研究指導教員の詳細については研究科入試情報に関するWebページ (<https://mi.u-shizuoka-ken.ac.jp/cont/exam/grad-mii/>)を参照して下さい。

科目等履修生の情報

大学院進学の前準備として、大学院における指導教員や研究テーマ選びは難しいものですが、科目等履修生はそのハードルをうまく越える方法です。また科目等履修生で履修した単位は入学後の単位に認定されることから、多忙な社会人には特に有益です。

